

第三者評価基準 (様式2)
【 障害者・児福祉サービス版 】 R2年3月31日改定

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A1	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが活動や遊びを自由に選択できるように、マットの色でコーナーを4つに分けるなど環境設定にも配慮し、月1回のセレクトメニューや遊びの選択など、子どもが複数の提案の中から自分で選択し決定できるように支援されています。 ・一日の流れや活動方法などを絵カードや写真にして活動室に提示し、子どもが自ら選択し決定する場合には、絵や写真を用いて言葉以外に視覚でも判断できるように支援しています。また、朝会で一日の流れを確認し終会で状況を確認し、達成感を持てるように支援しています。 		
A-1-(2) 権利擁護		
A2	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・—・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で「知的障害者施設の人権擁護ハンドブック」の読み合わせを行い、職員が先頭に立ち利用者の人権を護るという意識を培い支援にあたっています。 ・職員は、子どもの権利のテストや講義・演習を行い実践的な研修を通して権利擁護意識の醸成と定着に努め、法人でも定期的に研修が実施されています。 ・法人や事業所内で人権擁護委員会を定期的に開催し、「利用者の権利侵害防止等」について検討し、職員会や回覧で全体に周知しています。 ・職員全員が「人権侵害防止に関するチェックリスト」を記入し、結果に応じて検討委員会を実施し、職員全員に周知しています。 ・支援計画作成時は、「子どもの権利条約」の4つの権利が侵害されていないかの視点でニーズの把握を行っています。 		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A3	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・b・c
評価概要		

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と定期的な面談や関係機関と定期的に情報交換を行い、子どもの状態について共通理解をもちながら、現在の状態、障害特性を考慮したグループ構成で支援しています。 ・自立や動機づけを促す支援として、子どもの行動を褒めて気持ちを高め、小さな成功体験を積み重ねることで、子どもが自己肯定感を高めながら次のステップへ進めるような環境設定や支援計画作成に努め支援しています。 ・子どもの自立に向けて、ペアレントプログラムを年6回実施し、保護者研修や個別面談を行い、家庭での支援や養育環境についても協同して支援しています。 		
A 4	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㉑・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのアセスメント結果にもとづき、子どもの状況に応じて文字や言葉で伝えるだけでなく、写真・イラスト・身振り、アプリなど視覚的な情報を駆使してコミュニケーションを図っています。 ・子ども固有の手段やサインを保護者と共有して連携し、コミュニケーションが図れるように工夫を行っています。 		
A 5	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㉑・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・「せんせいたちのおやくそく」で子どもの話を聞くこと、気持ちを守ること、約束を守ることを掲示し、子どもがいつでも話ができるような環境を作り支援しています。 ・相談された内容は速やかに主任や施設長に報告し、朝礼・職員会議で報告し、相談記録の回覧を行い、職員間で共有しています。 ・相談された内容は、個別支援計画策定及び6ヶ月後の更新の際に個別支援計画に反映させています。 		
A 6	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㉑・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに月計画案・日課計画案を作成し、個別計画で策定した目標達成に向けた活動を提供しています。日課計画案には、活動のねらいや職員配置、支援上の留意点と、個別に目標と活動面、生活面の視点で作成されています。日課計画案は事務所のボードに掲示して、子どもの成長の状態を確認できるようにしています。 ・鹿児島市が発行する「子育てガイド」を保護者がいつでも閲覧できるようにして情報提供を行い、市や県からの子ども向けのイベントや子育てに関連した講演会、地域育児サロンなどの情報も提供しています。 		
A 7	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㉑・b・c
評価概要		

<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性や定型発達の研修や、具体的に注意点を示しアセスメント力向上のための研修を行い、知識習得や支援技術の向上に努めています。 ・個別に支援が必要な子どもについては、多職種の意見を踏まえて支援方法を検討し、見直した支援方法などは、回覧や朝礼で情報を共有しています。 ・年6回のペアレントプログラム実施と必要に応じて個別面談を行い、保護者の子育て力の向上に向けた支援を行っています。 		
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>		
A 8	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の献立は、子どもが分かるように、廊下に写真で掲示してあります。 ・年1回保護者に対して「食事に関するアンケート調査」を実施し、子どもの嗜好などを把握し、献立作りに活かされています。食事は保護者と情報を共有し、発達や特性の状況に応じて形態に配慮をして提供されています。月だよりの中に食事のレシピを掲載し、保護者の参考になるように工夫されています。 ・個別の日常的な生活支援は、個別支援計画に記載し、職員が共通して支援する内容は「歯磨き支援マニュアル」「食事支援マニュアル」「排泄支援マニュアル」「着替えマニュアル」などマニュアルを整備し、個々の職員が一定の水準を保てるようにしています。入浴支援の実施は事業所の特性で実施はありません。 ・移動については、「バス送迎時注意事項」などのマニュアルに従い、安全な支援に努めています。 		
<p>A-2-(3) 生活環境</p>		
A 9	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全に配慮し、コーナーや床はクッション材で保護しています。 ・他の子どもと過ごすことが難しいなど、子どもの状況に応じて、個室で過ごしたり、仕切りを設けたりして落ち着いて過ごせるように工夫を行っています。 ・毎月月末に「安全点検日」を設け、担当者が事業所内の各点検箇所を改めて点検し、改善箇所等の有無についてもチェックを行い、防火管理者・主任・施設長が確認しています。 ・毎朝、施設内外の清掃を行い、子どもが帰った後は清掃・消毒等を行い、清潔な環境作りをしています。 		
<p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p>		
A 10	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に必要な機能訓練や生活訓練を記載し、言葉につながる遊び・興味のある遊びを取り入れ、生活動作獲得や生活のリズム作りや快・不快の感覚の獲得に取り組み、具体的に支援をしています。 ・日課計画案で、全体的な活動のねらいや職員の配置を明示し、子ども一人ひとりの活動面と生活面の2つの視点で目標を立てて支援しています。 		
<p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p>		
A11	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康管理マニュアル」を作成し、検温や朝の状態の確認、トイレ使用時にボディチェックを徹底し、体調面の確認をしています。 ・子どもの健康状態は、看護師を中心に朝礼等で周知し、傷の手当や内服の状況などを看護日誌に記載して、子どもの健康状態の変化などを全職員で共有しています。 ・食事や排泄の状況を連絡帳や送迎時に保護者と共有し、連携をとりながら支援をしています。 ・子どもの健康状態を把握するため、年2回の内科健診、年1回の歯科検診を行い定期的な健康管理を行っています。 		
A12	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的支援については、健康管理マニュアルや感染症マニュアルなどが整備され、マニュアルに従い支援されています。 ・与薬については、「服薬支援におけるマニュアル」を整備し、主治医の指示のもと保護者からの依頼で服薬支援を行っています。内服薬は静養室で保管し、ホワイトボードで服薬する子どもを管理し支援しています。 ・子どもが服薬している薬の種類とその副作用、服薬の手順等、服薬に関する研修を実施しています。 ・食物アレルギーがある子どもについては、生活管理表に記載された食物を除去して食事を提供できる仕組みを構築しています。 		
<p>A-2-(6) 社会参加、学習支援</p>		
A13	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児の保護者を対象に就学相談の機会を設け、学校の種別に応じた教育内容の紹介・学校見学への案内等を行い支援しています。 ・ソーシャルスキルトレーニング（SST）で、順番を守ることなど社会生活のルールについて学ぶ機会を作り、社会参加ができるようになるための療育を行い支援しています。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・並行通園をしている子どもが、並行通園先で行事などに参加でき、社会参加につながれるように、見通しを立てながら後方支援を行っています。 		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A14	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実情を踏まえ、保育園や幼稚園への就園支援を行っています。 ・年長児に対して「移行支援シート」を作成し、スムーズに就学先の学校生活に移行できるように支援しています。 ・模擬的な縁日遊びなど地域生活の雰囲気を経験する機会を作り、保護者と一緒に参加する機会が得られるように支援しています。 		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A15	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の家族通所や親子遊びの会を設け、保護者との連携・交流を行い、生活や支援について情報交換や相談などを行っています。 ・ペアレントプログラムを実施し、保護者研修の機会や悩みや相談に対応する支援も行っていきます。 ・突発的に体調が悪化した時は、保護者との確認内容をもとに早急に保護者へ連絡すると共に応急的な対応を行っています。 		

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A16	① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成時は、特性に応じたアセスメントツールを使用することで、子どもの発達状態を把握し、発達に合わせて支援しています。 ・個別支援計画にもとづき子どもの発達段階に応じた支援を行っています。 ・定期的にグループケース会議などを実施し、子どもの近況状態を把握し計画の見直しなどを行っています。 ・関係機関と連携を図り、連絡会の実施や訪問を通して子どもの情報共有を図っています。 		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A17	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		
A18	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		
A19	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		